

あげお未来創造市民会議

～第8回資料～

【 目 次 】

1. あげお未来創造市民会議のスケジュール・・・1
2. 第8回あげお未来創造市民会議のプログラム・・・3



令和元年12月

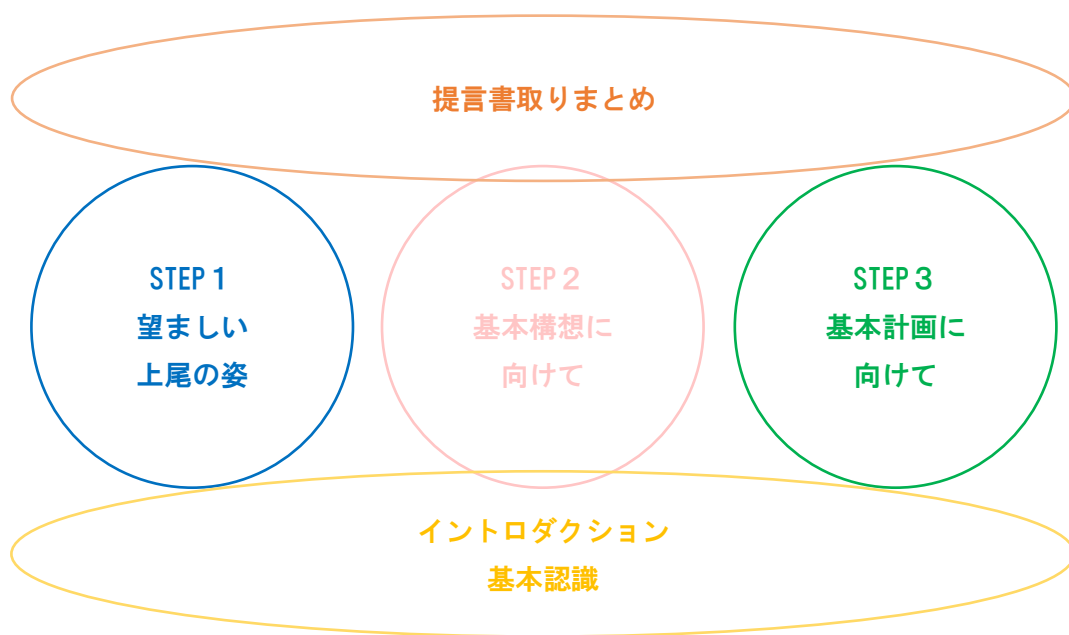
1. あげお未来創造市民会議のスケジュール

- あげお未来創造市民会議は、グループに分かれて話し合い、第6次上尾市総合計画の策定に向けた提言をまとめていただく住民ワークショップです。次のとおり全14回の開催を予定しており、今回は第8回目となります。

STEP	開催日時	ワークショップの内容	
イントロダクション	第1回 令和元年 5月25日(土) 9時～12時	○市民会議の概要説明等 ■グループ討議 「第6次上尾市総合計画を策定するうえでの前提条件の考察」	済
STEP 1	第2回 6月15日(土) 9時～12時	■グループ討議 「シナリオプランニング①～私たちが望む上尾の姿～」	済
	第3回 7月6日(土) 9時～11時	■グループ討議 「シナリオプランニング②～望ましい上尾の姿の実現のために～」	済
STEP 2	第4回 8月9日(金)	■グループ討議 「将来都市像・基本理念の検討」	済
	第5回 9月27日(金)	■グループ討議 「まちづくりの基本方向の検討」	済
STEP 3	第6回 11月1日(金)	○施策イメージの共有等 ■グループ討議 「施策に対する意見検討①」(協議分野1の理想の状態)	済
	第7回 11月29日(金)	■グループ討議 「施策に対する意見検討②」(協議分野1の必要な取組)	済
	第8回 12月20日(金)	■グループ討議 「施策に対する意見検討③」(協議分野1の市民／行政の役割)	
	第9回 令和2年 1月	■グループ討議 「施策に対する意見検討④」(協議分野2の理想の状態)	
	第10回 2月	■グループ討議 「施策に対する意見検討⑤」(協議分野2の必要な取組)	
	第11回 3月	■グループ討議 「施策に対する意見検討⑥」(協議分野2の市民／行政の役割)	

STEP	開催日時	ワークショップの内容
提言書取りまとめ	第12回 4月	■グループ討議 「提言書の検討①」（提言書の内容確認①）
	第13回 5月	■グループ討議 「提言書の検討②」（提言書の内容確認②） 「発表準備」
	第14回 5月	○提言書提出 「グループ代表者による発表」

あげお未来創造市民会議の協議内容イメージ



2. 第8回あげお未来創造市民会議のプログラム

【前回の振り返り】

- 前回の第7回会議では、次期総合計画における具体的な施策の検討に向けて、それぞれのグループの「協議テーマ1」における「理想の状態」を実現するために「必要な取組」について話し合いました。

【今回の趣旨】

- 第8回会議では、前回と同じく5グループに分かれた上で、それぞれのグループの「協議テーマ1」に関して、前回協議した「必要な取組」を実行していくに当たって「市民にできること」「行政にできること」について協議し、グループごとに発表します。

時間（目安）	内 容
9：00～	■ 受付・ご案内（受付の案内にしたがってグループ別にご着席ください）
9：30	（1）開会
9：30～ 9：40	（2）オリエンテーション ➤ 本日の話し合いの進め方などをご説明します。
9：40～ 10：20	（3）グループ討議（前半） ①協議テーマ1の「必要な取組」における「市民と行政の役割」の検討 ➤ 資料を参照し、各グループにおいて前回協議した「必要な取組」を確認した上で、これを実行していくに当たって「市民にできること」「行政にできること」について協議します。
10：20～ 10：30	（4）休憩
10：30～ 11：10	（5）グループ討議（後半） ②協議テーマ1の「必要な取組」における「市民と行政の役割」の検討 ➤ 前半の協議を継続し、グループとしての意見を整理します。
11：10～ 11：50	（6）グループ発表 ➤ グループごとに、話し合ったことを発表します。 （1グループ3～5分くらい） ➤ 各グループの発表後は、そのグループの協議テーマに関連した意見や質問を、他のグループの方から頂戴する全体での意見交換の時間（5分程度）とします。
11：50	（7）閉会

【議論の進め方】

- 本日の協議では、まず「分野ごとの役割分担シート」（または「分野ごとの取組検討シート」）を確認し、分野ごとの「必要な取組」について前回出た意見を確認します。
- 次に、「必要な取組」を実行していくに当たって、「市民にできること」と「行政にできること」は何かを考えます。
- 例えば、A グループの「健康」分野では、健康づくりの担い手となる「サポーターを育成」するとの取組がありますが、「行政にできること」としては「サポーターを育成する講座を開催する」などといった役割が考えられる一方、「市民にできること」としては「行政が開催する講座への積極的な参加を周囲に呼び掛ける」といった役割が想定できます。
- なお、今回の協議に当たっては、前回までに意見が出された全ての取組について網羅的に議論していただくよりは、市民と行政の役割分担について話し合いやすい論点に焦点を当てて意見交換を進めていただくようお願いいたします。

〈前回までの成果〉

分野ごとの取組検討シート（Aグループ）

	健康・医療		
	【最上位目標】・健康寿命が長い（健康で長生き） ・いるだけで健康になれるまち ・病院、介護施設が必要なまち		
	人	地域	まち（市）
現状の状況	身体 ・自分の健康は自分で守るという責任感がある ・市民が健康に関心がある（健康づくりへの課題の共有ができています） ・運動習慣が身についている ・介護予防ができています ・高血圧が抑えられている ・病気に対する予防ができています ・休養（睡眠）が取れている ・子どもの健康づくりができています	・市民の活発な社会参加（社会活動に参加している人が多い、まちの企画に多くの市民が参加、高齢男性が外に出ている、アピー体験に男性が多数参加、高齢者が自由に散歩、高齢者がコミュニケーションを取れる場所がある） ・地域のつながりが強い（単身高齢者の見守り体制ができています、シルバー人材センターが活性化） ・健康経営	・公衆衛生が充実している（健診受診率100%、受診後のフォロー体制が整っている） ・医療を受けやすい環境が整っている（地域医療、医療がスムーズに受けられる環境、大病院とのつながりがある、地域包括ケア、受け入れ施設が充実、かかりつけ医によって健康管理ができています、病院の情報にアクセスしやすい） ・何かあった時のバックアップ体制が充実
	メンタル ・ストレス解消ができています ・ニートや不登校になってしまうことがない ・相談体制が整っている		

〈今回の議論〉

分野ごとの役割分担シート（Aグループ）

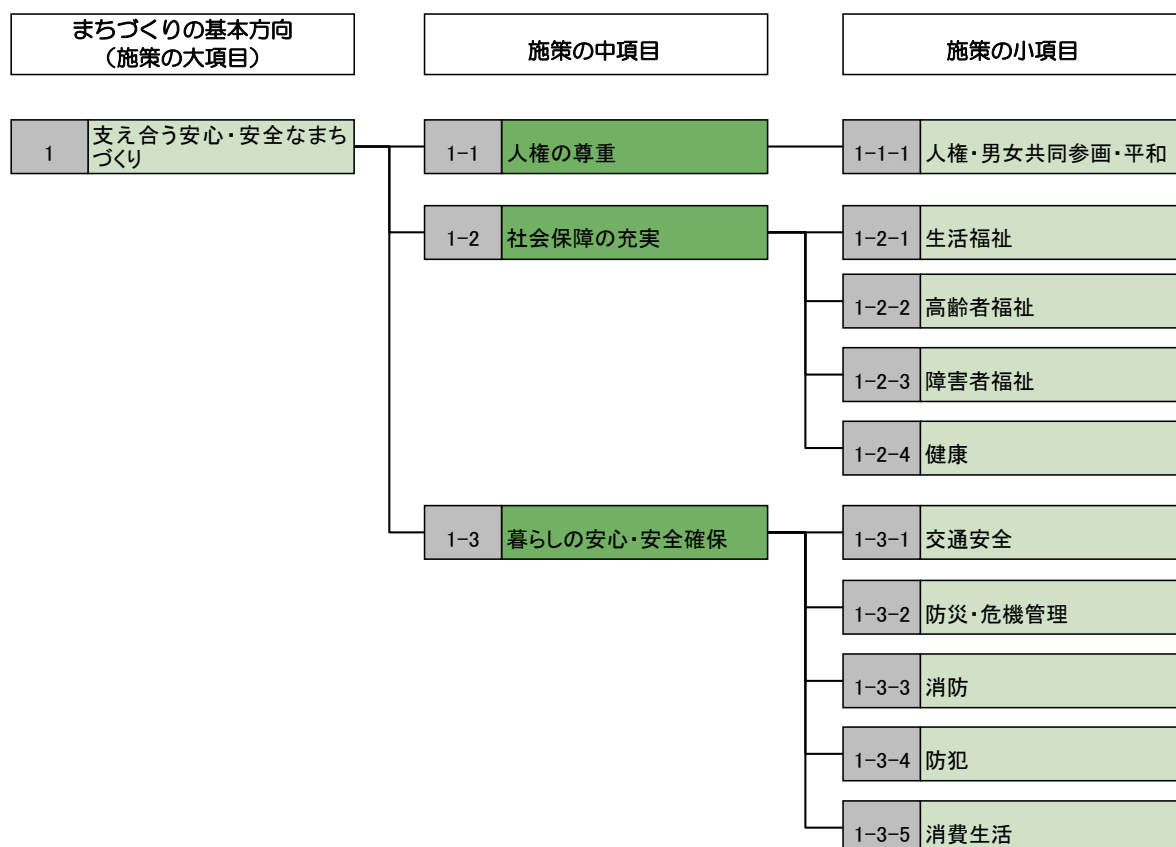
	健康		
	【最上位目標】・健康寿命が長い（健康で長生き） ・いるだけで健康になれるまち ・病院、介護施設が必要なまち		
	人	地域	まち（市）
実現に必要な取り組み	規則正しい生活 ・早期早起き朝ごはん（朝食をしっかりと摂る、睡眠時間の確保） 食育 （大人への教育、家庭での習慣付け、口腔衛生、咀嚼・食事の取り方を教える） フレイル予防 ・本人が気付けるきっかけや情報を与える（セルフチェックが気軽にできるようにする、家庭でできる運動を教える） 健康づくりを促す工夫 （体験にポイント付与など） 生活習慣病予防 ・世代別年代別の健康課題に対応（ライフステージ別の対策、若い頃からの生活習慣病対策） 心の健康 ・引きこもり対策（生きがいを与える） ・ストレス予防を教える場所がある スマートフォンやスマートフォンのやりすぎ注意 ・長時間のスマホ防止のチェックリスト作成	社会参加を促す ・サークル活動やボランティア活動など、生きがいを見つけ、参加する ・引きこもらせない ・人が外に出ていきたくなる機会をつくる（イベント、無料の〇〇など魅力的なプランを企画、飲み出し・試食会、子どもと一緒にイベント、子どもをキーにして大人・高齢者同士をつなげる、ソフトボール、ゲートボール、情報） ・ふらふら歩ける場所をつくる（車が入ってこれない歩行者専用のエリア、興味を持って入ってみたいくなる施設） 健康経営を推進 ・自治体、商工会（企業）が健康保険等を通じて連携	情報提供・啓発 ・知識を提供する体制づくり（意識を変え、実行に移す啓発活動、セミナーのネット配信、情報を広める工夫、学習漫画） 健（快）診受診率向上のための取組 ・受診率アップのための広報（自分の健康に危機感を持ってもらう） 健康づくりの担い手を育成 ・サポーターを育成（サポーターが活動する場所をつくる、相談・対話） 安心して医療を受けられる体制整備 病院マップ ストレス解消を図る ・相談窓口の充実（SNSの活用、学校での相談）

	健康		
	【最上位目標】・健康寿命が長い（健康で長生き） ・いるだけで健康になれるまち ・病院、介護施設が必要なまち		
	人	地域	まち（市）
実現に必要な取り組み	規則正しい生活 ・早期早起き朝ごはん（朝食をしっかりと摂る、睡眠時間の確保） 食育 （大人への教育、家庭での習慣付け、口腔衛生、咀嚼・食事の取り方を教える） フレイル予防 ・本人が気付けるきっかけや情報を与える（セルフチェックが気軽にできるようにする、家庭でできる運動を教える） 健康づくりを促す工夫 （体験にポイント付与など） 生活習慣病予防 ・世代別年代別の健康課題に対応（ライフステージ別の対策、若い頃からの生活習慣病対策） 心の健康 ・引きこもり対策（生きがいを与える） ・ストレス予防を教える場所がある スマートフォンやスマートフォンのやりすぎ注意 ・長時間のスマホ防止のチェックリスト作成	社会参加を促す ・サークル活動やボランティア活動など、生きがいを見つけ、参加する ・引きこもらせない ・人が外に出ていきたくなる機会をつくる（イベント、無料の〇〇など魅力的なプランを企画、飲み出し・試食会、子どもと一緒にイベント、子どもをキーにして大人・高齢者同士をつなげる、ソフトボール、ゲートボール、情報） ・ふらふら歩ける場所をつくる（車が入ってこれない歩行者専用のエリア、興味を持って入ってみたいくなる施設） 健康経営を推進 ・自治体、商工会（企業）が健康保険等を通じて連携	情報提供・啓発 ・知識を提供する体制づくり（意識を変え、実行に移す啓発活動、セミナーのネット配信、情報を広める工夫、学習漫画） 健（快）診受診率向上のための取組 ・受診率アップのための広報（自分の健康に危機感を持ってもらう） 健康づくりの担い手を育成 ・サポーターを育成（サポーターが活動する場所をつくる、相談・対話） 安心して医療を受けられる体制整備 病院マップ ストレス解消を図る ・相談窓口の充実（SNSの活用、学校での相談）

	健康		
	【最上位目標】・健康寿命が長い（健康で長生き） ・いるだけで健康になれるまち ・病院、介護施設が必要なまち		
	人	地域	まち（市）
実現に必要な取り組み			

【施策とは】

- 分野別の方向性である7つの「基本方向」（現行計画では「（１）支え合う安心・安全なまちづくり」「（２）未来につなぐ環境づくり」「（３）快適な都市空間づくり」「（４）美しく心豊かなまちづくり」「（５）たくましい都市活力づくり」「（６）明日を担う人づくり」「（７）市民との協働と新たな行政運営」）を実現するための、具体的な取組を指します。
- 例えば、現行計画では「基本方向（１）支え合う安心・安全なまちづくり」に紐付く施策は、次のようになっています。



【協議テーマについて】

● 協議テーマは、次の表のとおりです。

協議テーマ１（第６～８回）

グループ	分類	小項目
Aグループ	健康・医療	健康
Bグループ	協働・コミュニティ	市民活動・コミュニティ支援、交流、情報共有、人権・男女共同参画・平和
Cグループ	行財政運営	行政運営、財政運営、公共施設
Dグループ	防災・防犯・交通安全	交通安全、防災・危機管理、消防、防犯、消費生活
Eグループ	福祉	生活福祉、高齢者福祉、障害者福祉

協議テーマ２（第９～１１回）

グループ	分類	小項目
Fグループ	都市基盤・公共交通・環境・緑地・公園	上水道・下水道、河川、土地利用、住環境、交通、道路、環境保全、廃棄物・リサイクル、生活環境、みどり
Gグループ	子育て	子育て、青少年
Hグループ	文化・スポーツ	文化・芸術、文化財、生涯学習、スポーツ・レクリエーション
Iグループ	教育	教育環境、教育活動
Jグループ	産業	農業、商業、工業、観光、勤労者・就労支援

【今後の協議イメージ】

- 第6回会議で、協議テーマ1の「理想の状態」を検討し、第7回会議で、「理想の状態」を実現するために「必要な取組」を、第8回で、「必要な取組」について、市民にできることと、行政にできることを分類します。第9回以降は、協議テーマ2について、同じプロセスで議論します。

第6回	○施策イメージの共有等 ■グループ討議 「施策に対する意見検討①」（協議分野1の理想の状態）	済
-----	--	---

第7回	■グループ討議 「施策に対する意見検討②」（協議分野1の必要な取組）	済
-----	---------------------------------------	---

第8回	■グループ討議 「施策に対する意見検討③」（協議分野1の市民／行政の役割）	
-----	--	--

協議テーマ2についても、「理想の状態」、「必要な取組」、「市民／行政の役割」について議論